



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

VOD-04「これで書ける！SDH ポートフォリオ執筆のコツ【新家庭医療専門医制度対応】」

【講師】

水本 潤希（東京大学大学院医学教育国際研究センター医学教育学部門）

芦野 朱（医療福祉生協連 CFMD レジデンス・東京）

大高 由美（獨協医科大学病院総合診療科）

大矢 亮（耳原総合病院救急総合診療科）

小松 真成（鹿児島生協病院総合診療科）

西岡 大輔（大阪医科大学研究支援センター医療統計室）

長谷田真帆（京都大学大学院医学研究科国際保健学講座社会疫学分野）

藤原 和成（出雲医療生協大曲診療所）

幌沙 小里（勤医協札幌病院）

長嶺由衣子（東京医科歯科大学大学院医歯学研究科介護・在宅医療連携システム
開発学講座）

新家庭医療専攻研修では、「健康の社会的決定要因（SDH）とアドボカシーおよびアクセス」が新たにポートフォリオ領域として設けられました。従来のポートフォリオ領域については、参考になる文献が多く公表・発売されていますが、新しい領域についてはみなさま対応に苦慮しているのではないのでしょうか。このセッションでは、SDH の考え方を日常診療に活かす手法の開発・普及を多職種で行っている Team SAIL と、日本プライマリ・ケア連合学会健康の社会的決定要因検討委員会との共催で、専攻医が SDH についてどのように理解し実践したらよいのか、それをどのようにポートフォリオにまとめたらよいのかについて考えます。このセッションに参加すれば、ポートフォリオが1本完成してしまうかも！？（セッション運営メンバーにポートフォリオの審査者はいません。セッションの内容は学会の公的な意見ではないことをご了承ください。）